

ロージャー」と呼ぶきよる体は、上中位機種と共通。そのためきよる体が付随している機器の遠隔監視や、付属する画面上での障害対応指示といっ

た管理機能は今回発売する機種でも使える。下位機種の投入で急伸するブレード型サーバー市場でシェア拡大を狙う。

自動音声サービス 自社PCで簡単に

プロネット

【神戸】システム開発のプロネット（神戸市、金子真己社長）は自動音声サービスを自社のパソコンで簡単に構築できるシステムを、ソフトの期間貸し（ASP）方式で提供する事業を開始した。ゴルフ場などサービス業の予約システムやコ

ールセンターのコンシェルジュサービス向けなどに提供する。
新サービスの名称は「VIC-Share」。

外部業者に発注することなく、社内パソコンで手順に従って会話内容を入力。自由にシナリオを作成して自動音声システ

ムを構築できる。
音声辞書には数字、単位、時間、日付など基本的な単語が最初から登録され、特定の商品名や車種などの追加登録も可能だ。

聞き取った音声の内容からウェブサイトなどのデータにアクセスし、そこで取得したデータを音声に変換して流せるので、自動音声システムが予約状況を確認しながら応答できる。

一契約で一回線、同時二着信の音声サービスに対応する。初期費用は五万円、月額費用は三万円。初年度千件の利用を目指す。

日経産業新聞

2008年(平成20年)

4月25日
金曜日

NIKKEI BUSINESS DAILY